

Ⅱ 調査結果の概要

1 観光客の概況

(1) 総観光客数

① 平成27年の総観光客数

単位：万人，%

区分	平成27年	平成26年	対前年増減	対前年増減率
総観光客数	6,618	6,181	437	7.1

平成27年の総観光客数は6,618万人で、平成26年と比べて437万人（7.1%）増加し、4年連続で過去最高を更新した。

主な増加要因としては、3月に中国やまなみ街道と東広島・呉自動車道が全線開通したことに伴い、周辺施設への来訪者が増加したことや、ふるさと旅行券事業の実施などが挙げられる。

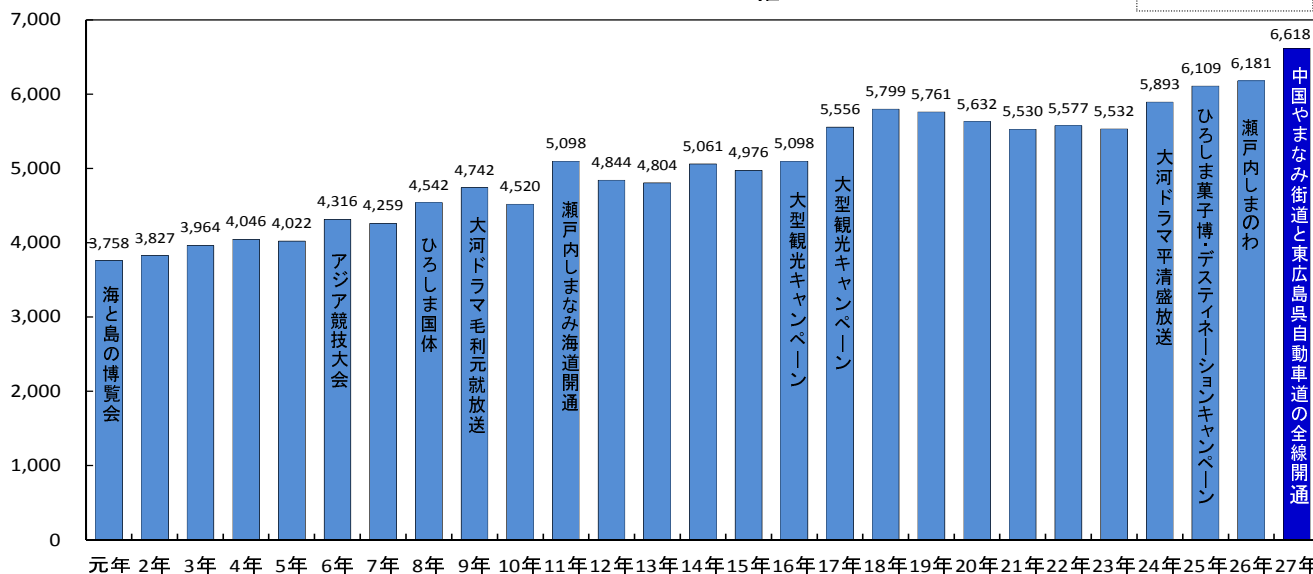
② 総観光客数の推移

本県の総観光客数は、平成元年以降ほぼ順調に推移し、「瀬戸内しまなみ海道」が開通した平成11年に初めて5,000万人を上回った。平成16年から平成18年は大型観光キャンペーンの効果もあり、3年連続して過去最高を更新したものの、その後は伸び悩み、平成21年以降は5,500万人台で推移していた。

平成24年は、大河ドラマ「平清盛」放送の効果もあり、6年ぶりに過去最高を更新し、平成25年は、広島県デスティネーションキャンペーンの実施などにより、初めて6,000万人を突破した。平成24年以降は好調に推移し、平成27年は4年連続して過去最高を更新した。

図1 総観光客数の推移

単位：万人



単位：万人，%

区分	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
総観光客数	3,758	3,827	3,964	4,046	4,022	4,316	4,259	4,542	4,742	4,520	5,098	4,844	4,804	5,061	4,976	5,098	5,556	5,799	5,761	5,632	5,530	5,577	5,532	5,893	6,109	6,181	6,618
対前年増減率	13.2	1.8	3.6	2.1	▲0.6	7.3	▲1.3	6.7	4.4	▲4.7	12.8	▲5.0	▲0.8	5.4	▲1.7	2.5	9.0	4.4	▲0.7	▲2.2	▲1.8	0.8	▲0.8	6.5	3.7	1.2	7.1
元年基準の指数	100	101.8	105.5	107.7	107	114.8	113.3	120.9	126.2	120.3	135.6	128.9	127.8	134.7	132.4	135.7	147.8	154.3	153.3	149.9	147.2	148.4	147.2	156.8	162.6	164.5	176.1

(2) 市町・地区別観光客の状況

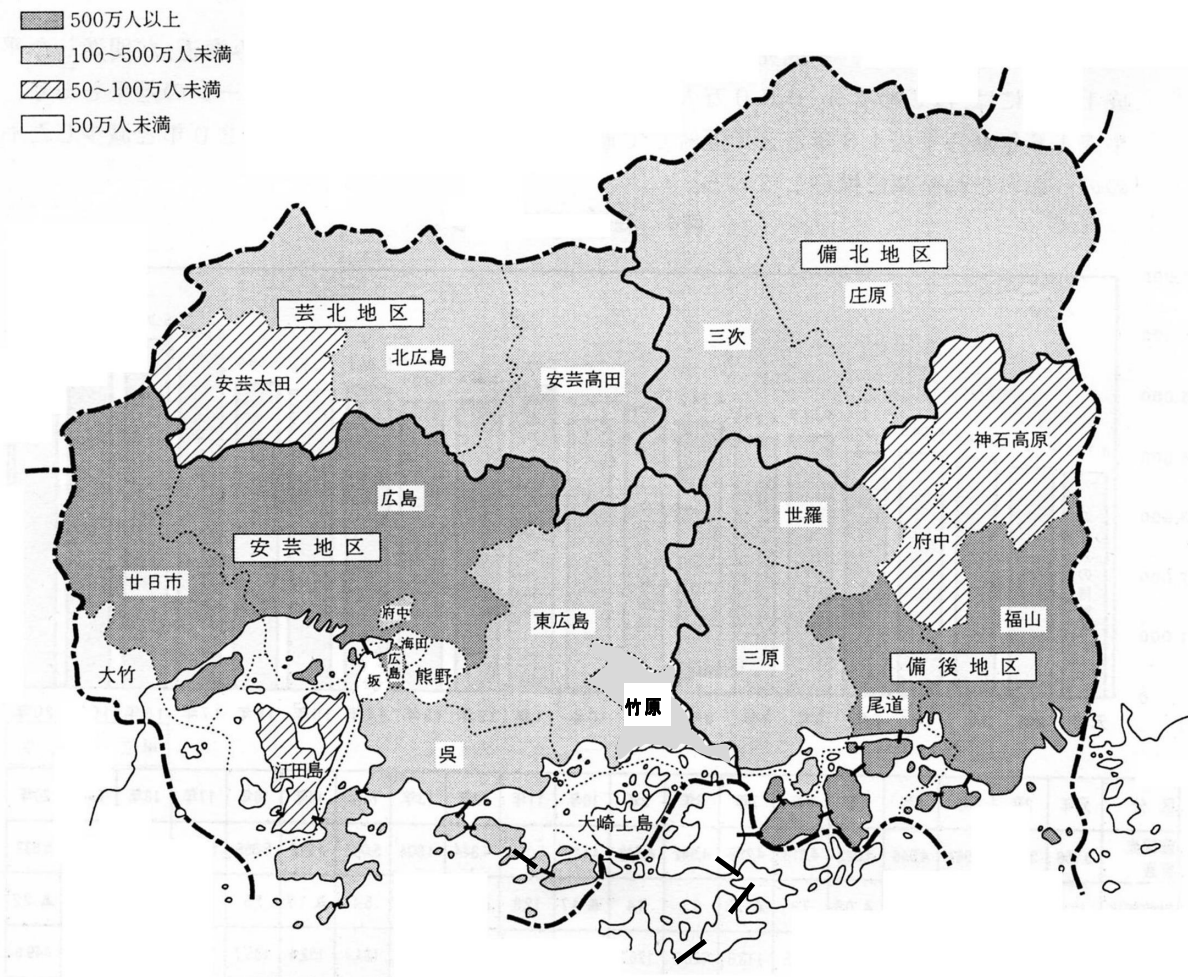
① 市町別総観光客数の状況

総観光客数	市町数	前年と比べて		
		増加した市町	増減なし	減少した市町
500 万人以上	4 市	広島市, 廿日市市, 福山市, 尾道市		
100~500 万人未満	10 市町	呉市, 三原市, 三次市, 庄原市, 東広島市, 世羅町, 安芸高田市, 竹原市	府中町	北広島町
50~100 万人未満	4 市町	神石高原町, 安芸太田町		府中市, 江田島市
50 万人未満	5 市町	大竹市, 坂町, 海田町, 大崎上島町		熊野町

総観光客数を市町別に見ると、広島市、廿日市市、福山市、尾道市などの瀬戸内海沿岸地域を中心に、総観光客数が多いことがわかる。

なお、前年に比べて総観光客数が増加した市町は 18、減少した市町は 4 である。

図 2 総観光客数の市町別状況



② 市町別総観光客数の順位（上位10位）

単位：千人，%

順位	市町名	平成27年	平成26年	対前年増減	対前年増減率	前年順位
1位	広島市	14,070	13,624	446	3.3	1位
2位	廿日市市	7,536	7,332	204	2.8	2位
3位	福山市	7,269	6,758	511	7.6	3位
4位	尾道市	6,747	6,412	335	5.2	4位
5位	呉市	4,618	4,223	395	9.4	5位
6位	三原市	3,546	3,222	324	10.1	6位
7位	三次市	3,361	2,756	605	22.0	8位
8位	庄原市	2,875	2,711	164	6.0	9位
9位	東広島市	2,823	2,772	51	1.8	7位
10位	北広島町	2,588	2,668	▲80	▲3.0	10位

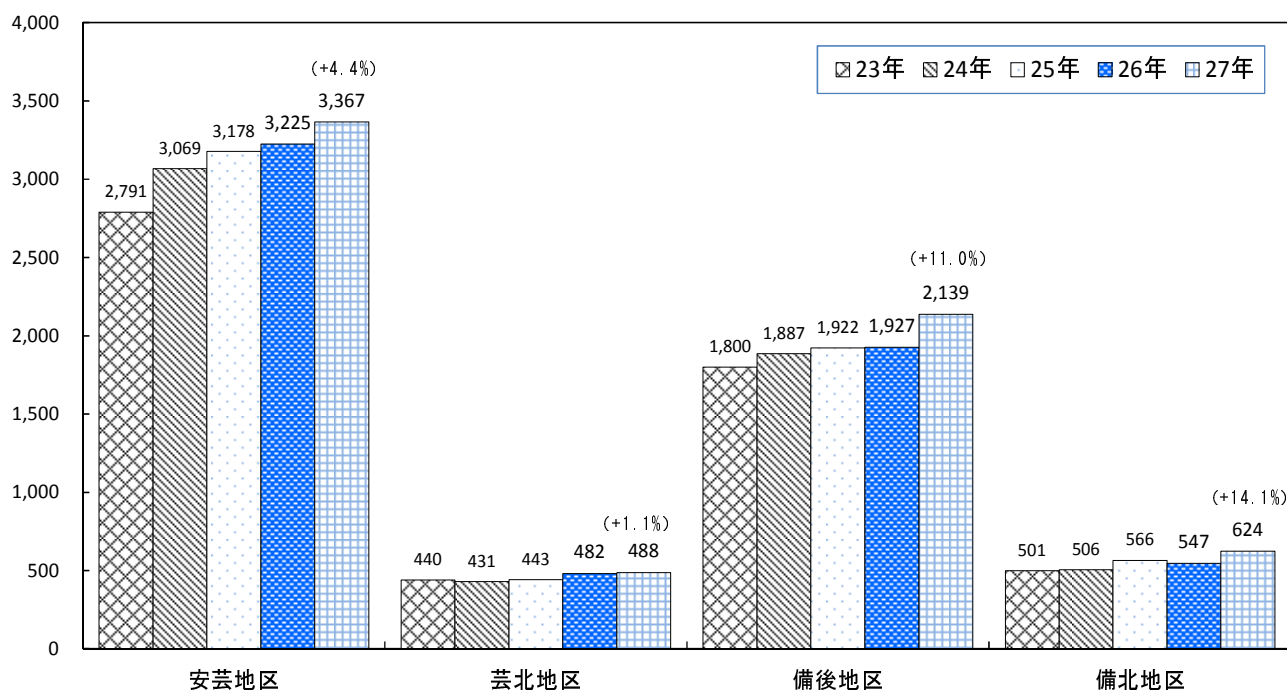
上位10市町の中では、三原市及び三次市が平成26年と比べて10%を超える増加となったが、北広島町は減少となっている。

③ 地区別総観光客数の状況

地区別では、いずれの地区においても、前年と比べて増加している。備後地区が212万人（11.0%）、安芸地区が142万人（4.4%）、備北地区が77万人（14.1%）、芸北地区が6万人（1.1%）の増となっている。

図3 地区別総観光客数の状況

単位：万人



(3) 発地別観光客の状況

① 県内・県外観光客の状況

単位：万人，%

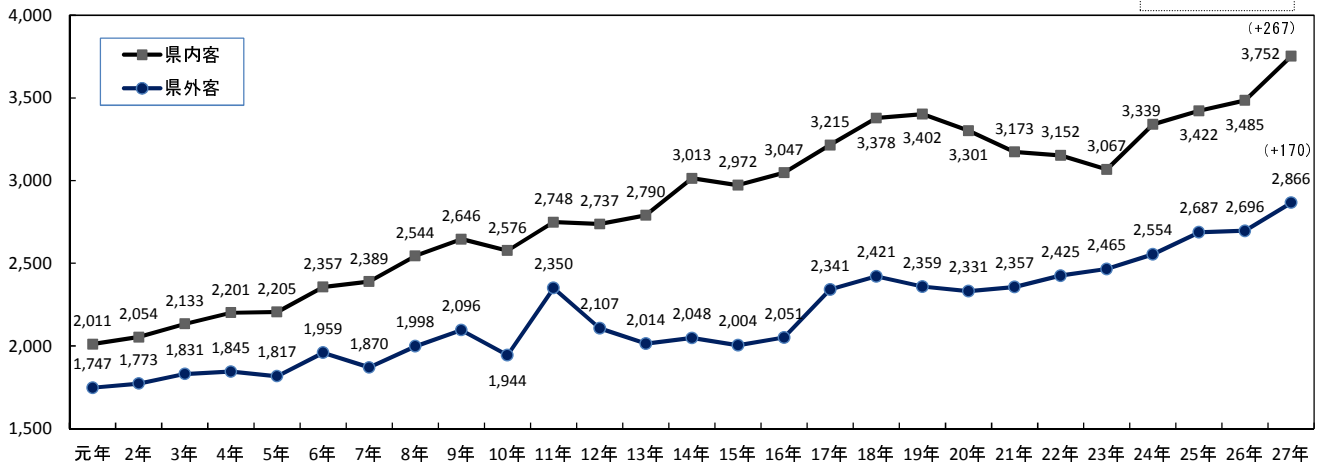
区分	平成27年	平成27年構成比	平成26年	対前年増減	対前年増減率
県内	3,752	56.7	3,485	267	7.7
県外	2,866	43.3	2,696	170	6.3

② 県内・県外観光客数の推移

県内観光客（地元観光客を含む）数は、前年比267万人増の3,752万人となり、4年連続で増加し、過去最高を更新した。また、県外観光客数も前年比170万人増の2,866万人となり、7年連続で増加し、過去最高を更新した。

図4 県内・県外観光客数の推移

単位：万人

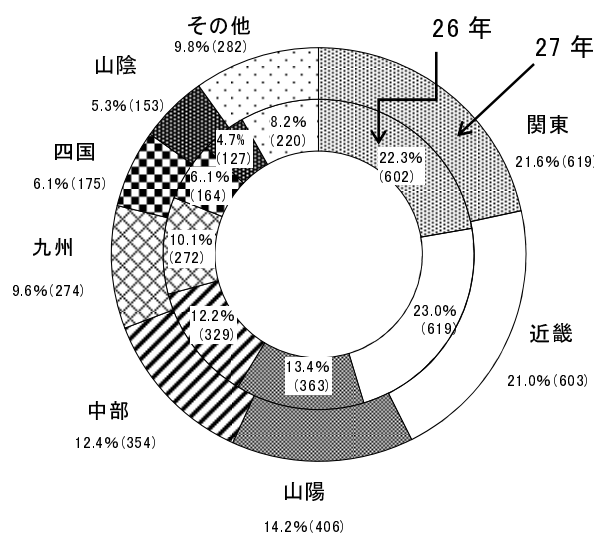


③ 県外観光客の発地別状況

発地別状況については、「関東地方」と「近畿地方」がそれぞれ600万人超で、この2地区の合計で県外観光客の半数近くを占めている。以下、「山陽地方」、「中部地方」、「九州地方」、「四国地方」、「山陰地方」の順になっている。

図5 発地別県外観光客数の割合

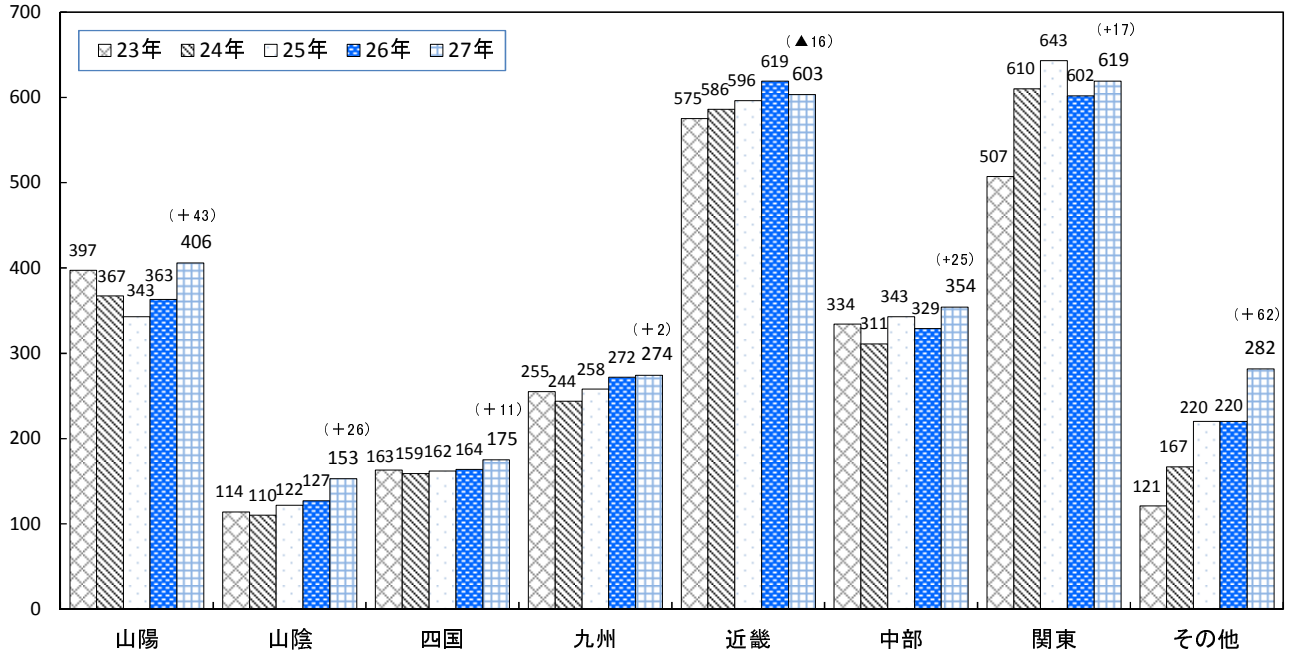
単位：万人



前年と比べた場合、「山陽地方」が4.3万人、「山陰地方」が2.6万人、「中部地方」が2.5万人の増加となっている。一方、「近畿地方」が1.6万人の減少となっている。

図6 発地別県外観光客の状況

単位：万人

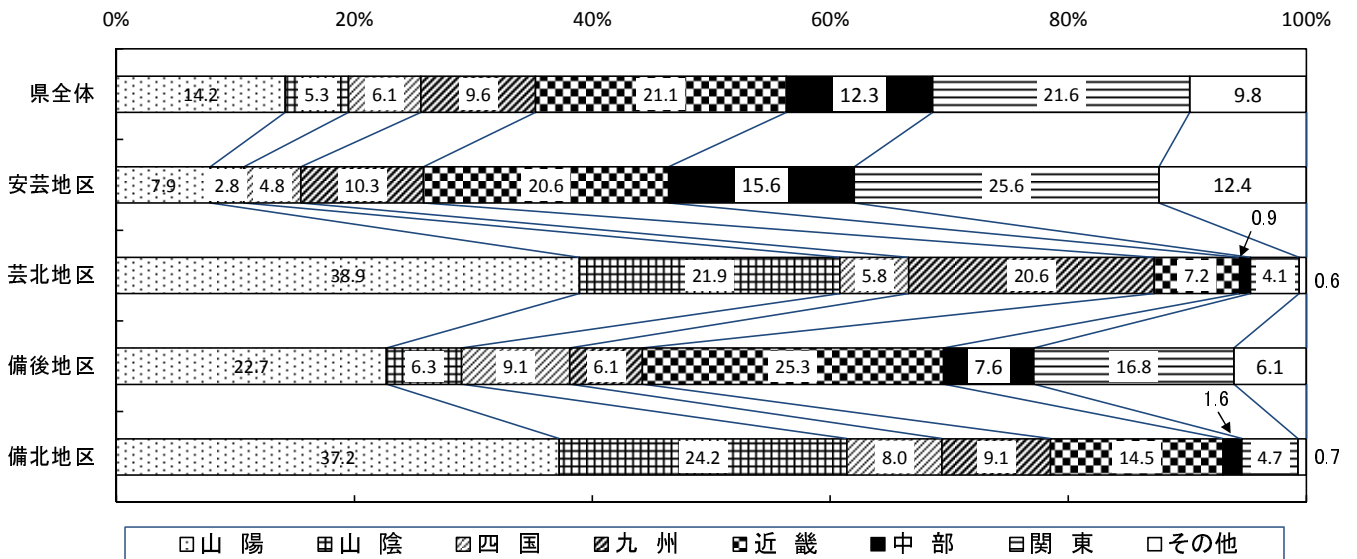


④ 地区別にみた発地別県外観光客の状況

安芸地区は「関東、近畿、中部地方」など大都市圏からの観光客が高い割合を占めている。また、芸北地区は「山陽、山陰、九州地方」から、備後地区は「近畿、山陽、関東地方」から、備北地区は「山陽、山陰、近畿地方」からの観光客が高い割合を占めている。

図7 県内各地区への県外観光客の発地別割合

単位：%

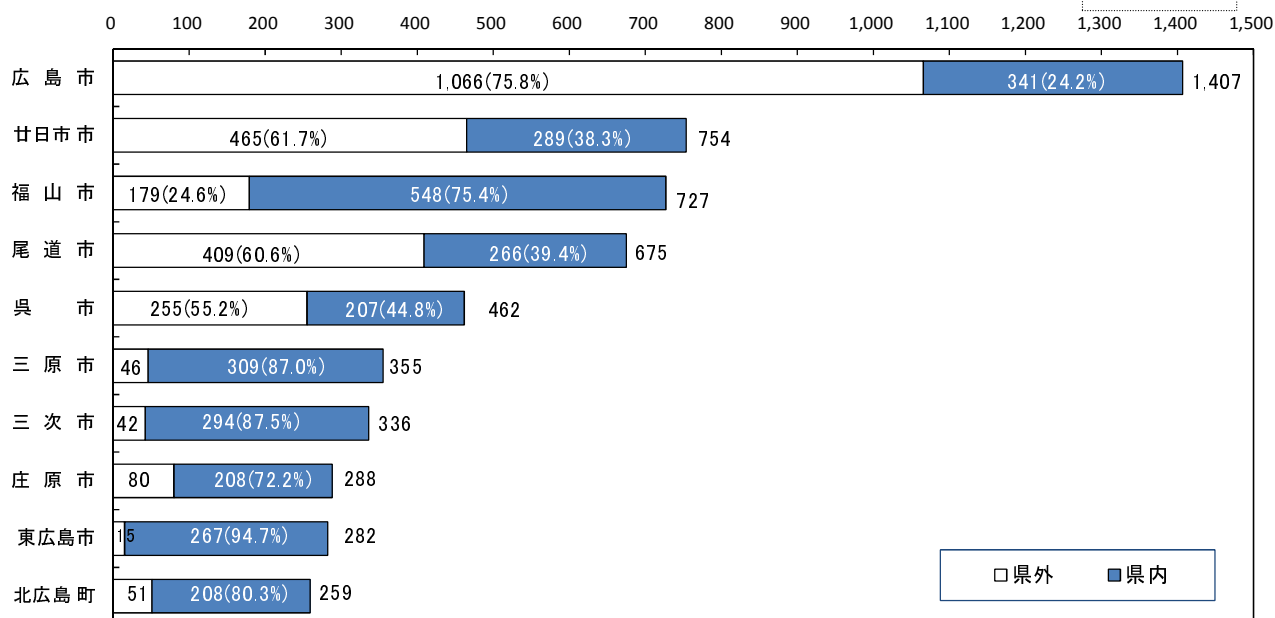


⑤ 市町別にみた県内・県外観光客の状況

観光客数の上位10市のうち、県外客の比率が県全体の平均43.3%を上回っているのは、広島市（75.8%）、廿日市市（61.7%）、尾道市（60.6%）、呉市（55.2%）の4市であった。

図8 市町別県内・県外別観光客数（上位10市町）

単位：万人

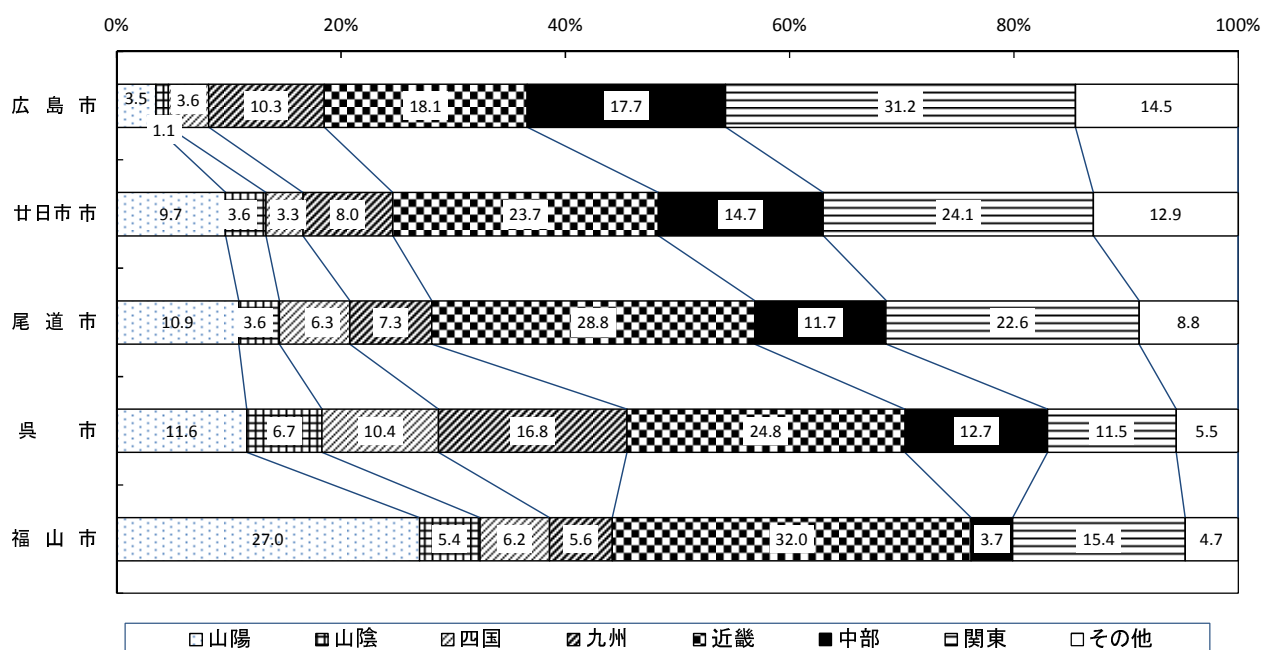


⑥ 市町別にみた県外観光客の発地別状況

県外からの観光客数が多い上位5市を見ると、広島市は「関東、近畿、中部地方」から、尾道市、廿日市市は「近畿、関東地方」から、呉市は「近畿、九州地方」から、福山市は「近畿、山陽地方」からの観光客が高い割合を占めている。

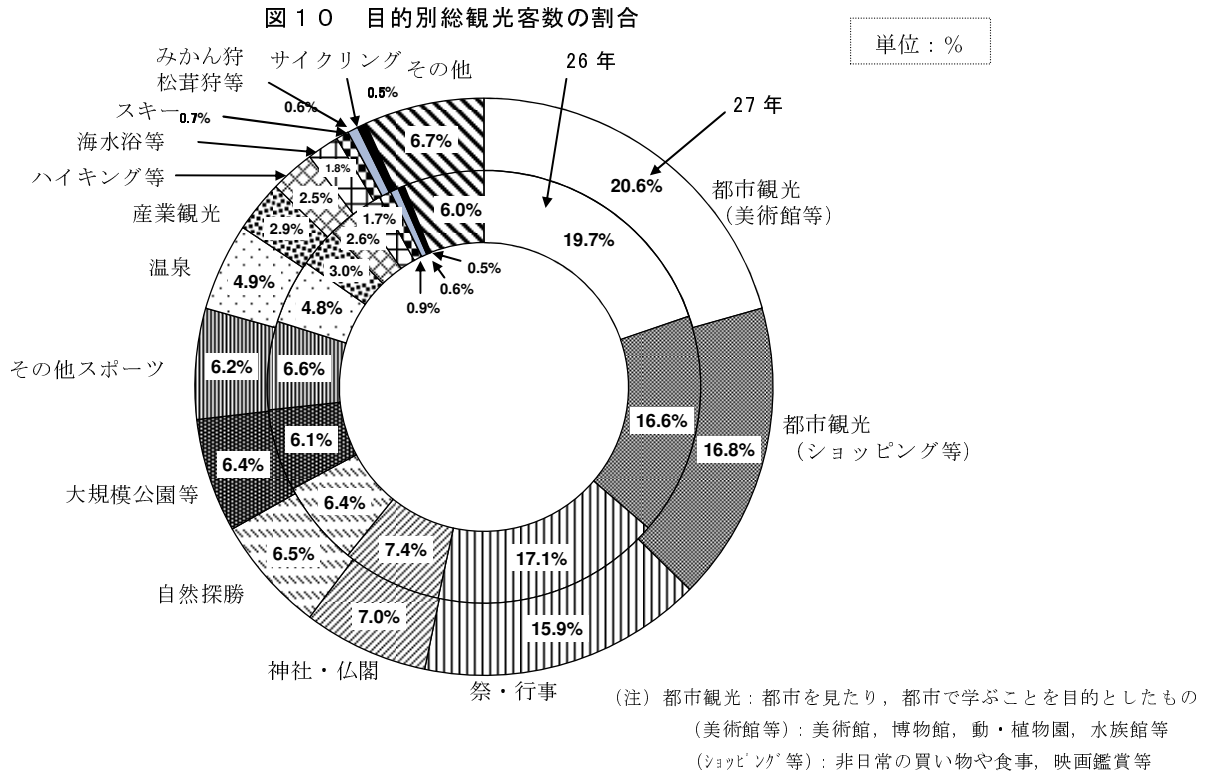
図9 市町別県外観光客の発地別割合（上位5市町）

単位：%



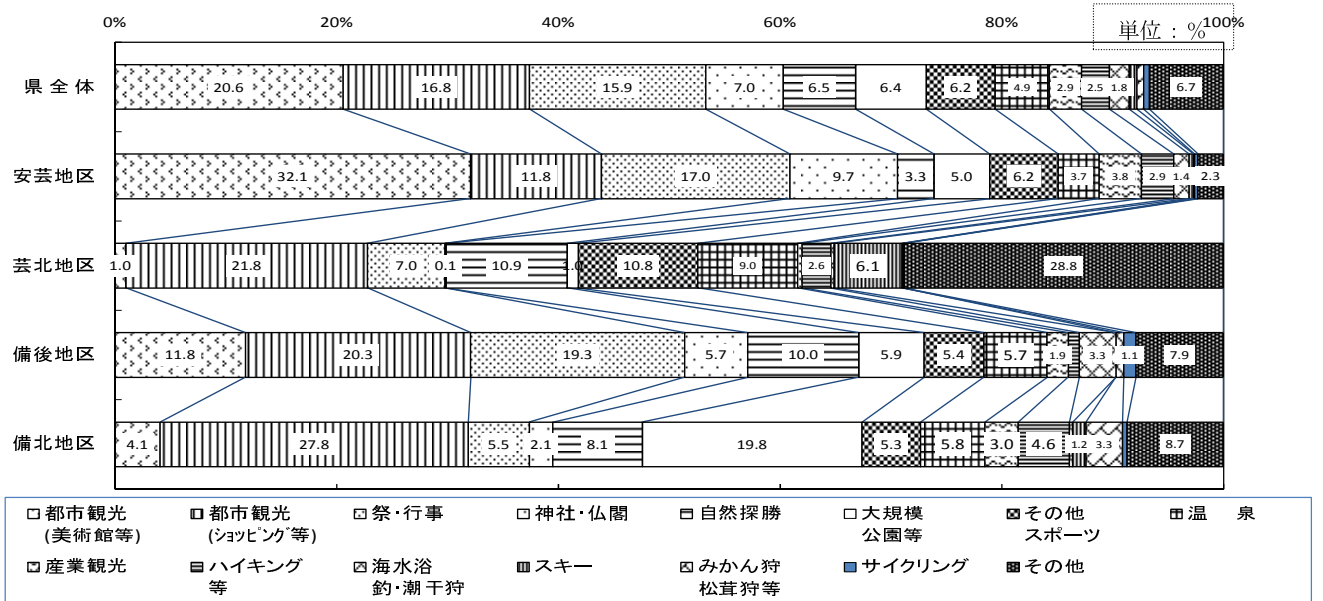
(4) 目的別観光客の状況

目的別では、「都市観光」が37.4%と最も高く（うち「美術館等」が20.6%、「ショッピング等」が16.8%）、次いで「祭・行事」の15.9%、「神社・仏閣」の7.0%となっている。



次に、地区別に目的別観光客の割合を見ると、安芸地区では「都市観光」(43.9%)が圧倒的に多く、芸北地区では「自然探勝」(10.9%)と「その他スポーツ」(10.8%)及び「温泉」(9.0%)、備後地区では「都市観光」(32.1%)と「祭・行事」(19.3%)、備北地区では「都市観光」(31.9%)と「大規模公園等」(19.8%)が高い割合となっている。

図11 地区別の目的別総観光客数の割合



(5) 旅行形態別観光客の状況

① 日帰り客・宿泊客の状況

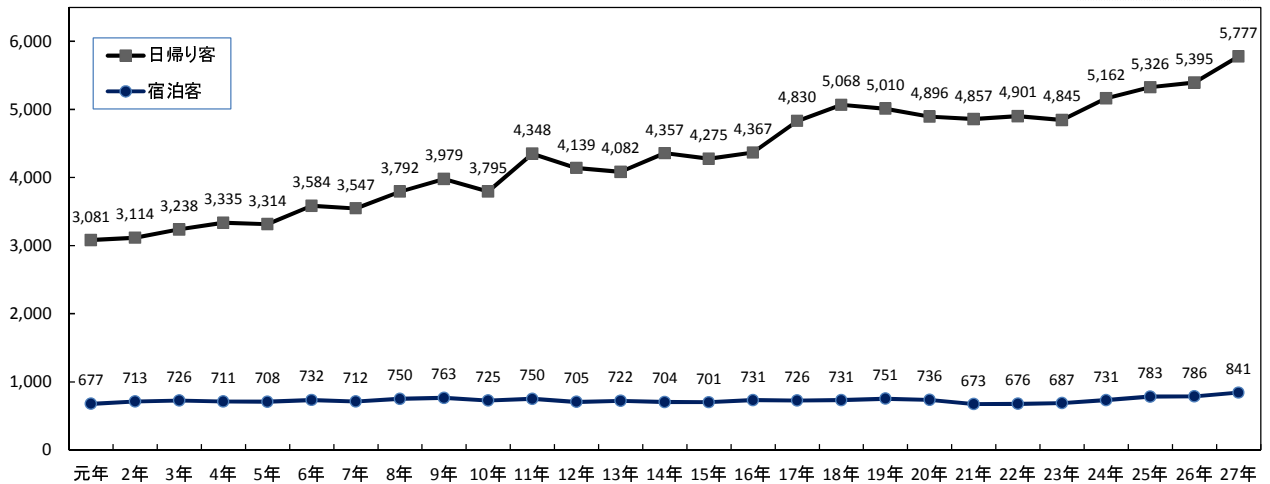
単位：万人，%

区 分	日帰り客		宿 泊 客	
	観光客数	構成比	観光客数	構成比
広島県全体	5,777	87.3	841	12.7
安芸地区	2,726	81.0	641	19.0
芸北地区	472	96.7	16	3.3
備後地区	1,995	93.3	144	6.7
備北地区	584	93.6	40	6.4

本県を訪れる観光客の多くは日帰り客であり、全体の9割近く（87.3%）を占めている。宿泊客は、前年より55万人増加し、過去最高を更新した。地区別では、安芸地区641万人が県全体の7割以上（76.2%）を占めており、次いで備後地区144万人、備北地区40万人、芸北地区16万人の順になっている。

図 1 2 日帰り客・宿泊客数の推移

単位：万人



② 一般客・団体客・修学旅行者^(注)の状況

単位：万人

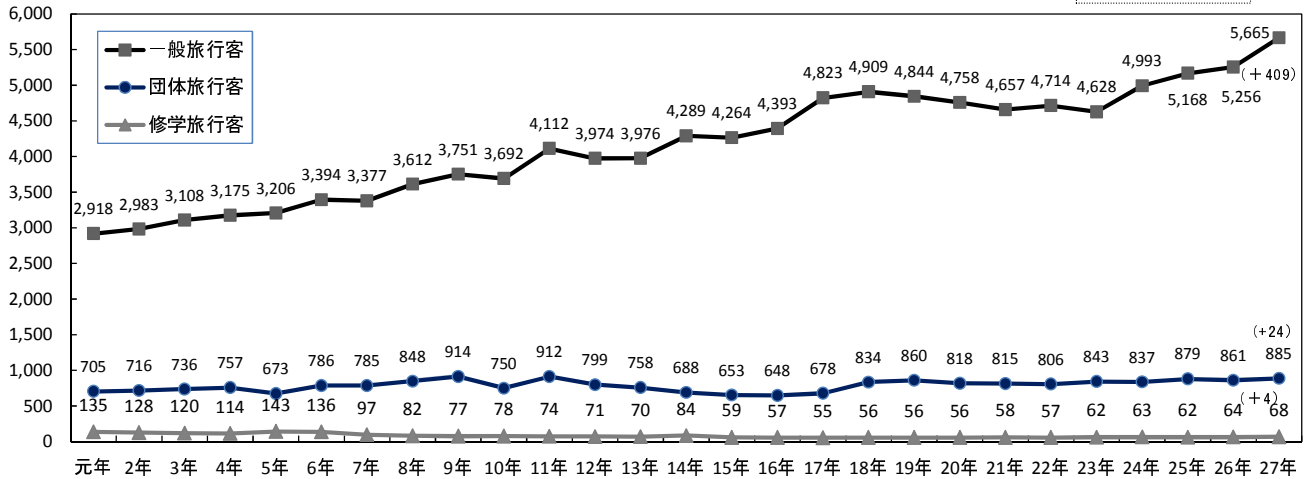
区 分	一般客		団体客		修学旅行者	
	観光客数	構成比	観光客数	構成比	観光客数	構成比
広島県全体	5,665	85.6%	885	13.4%	68	1.0%
安芸地区	2,858	84.9%	447	13.3%	62	1.8%
芸北地区	427	87.5%	61	12.5%	0	0.0%
備後地区	1,849	86.4%	284	13.3%	6	0.3%
備北地区	531	85.1%	93	14.9%	0	0.0%

観光客を一般客，団体客，修学旅行者別にみると，一般客が前年より409万人，団体客は24万人，修学旅行者が4万人増加した。

(注) 団体客：10人以上の団体旅行者，一般客：団体客，修学旅行者以外の旅行者

図 1 3 一般客・団体客・修学旅行客数の推移

単位：万人



(6) 交通機関別観光客の状況

観光客の利用交通機関をみると、自家用車を利用したいわゆる「マイカー客」が、3,710万人（前年比7.0%増）と最も多く、観光客全体の56.0%を占めている。

ついで、鉄道利用者が1,302万人（前年比8.1%増）、バス利用者が725万人（前年比8.8%増）、船舶利用者が609万人（前年比3.9%増）となっている。

図 1 4 交通機関別総観光客の割合

単位：万人

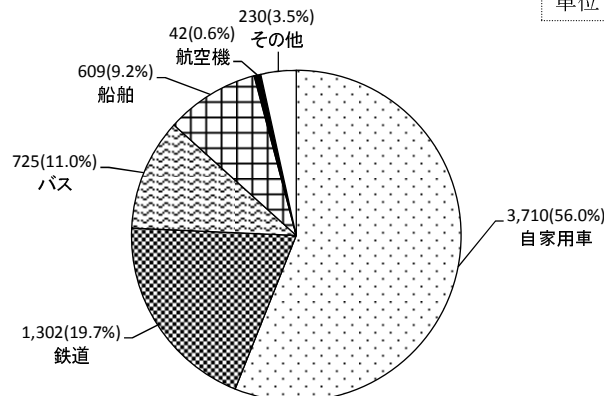
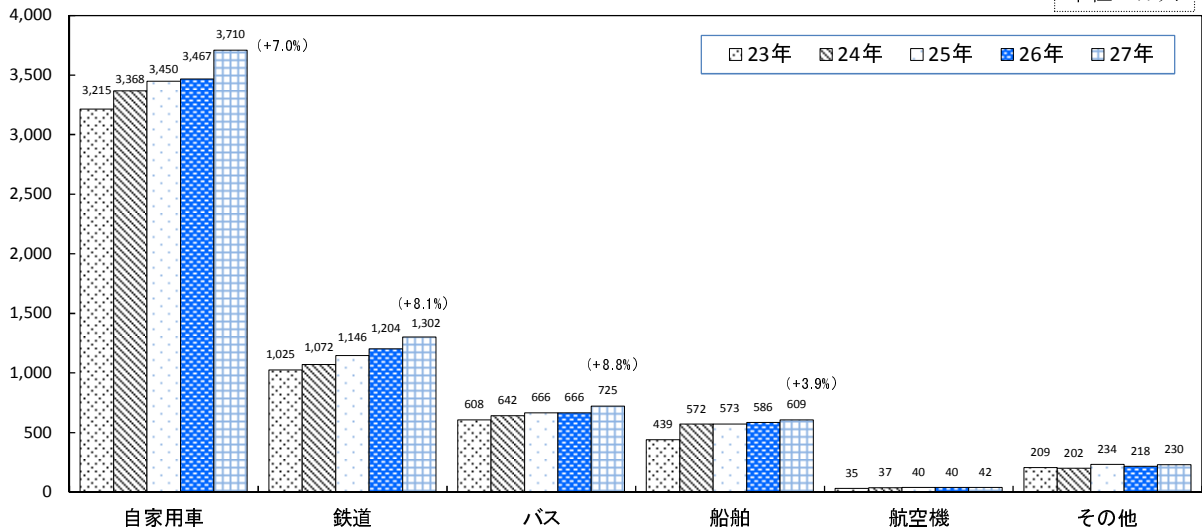


図 1 5 交通機関別総観光客の状況

単位：万人



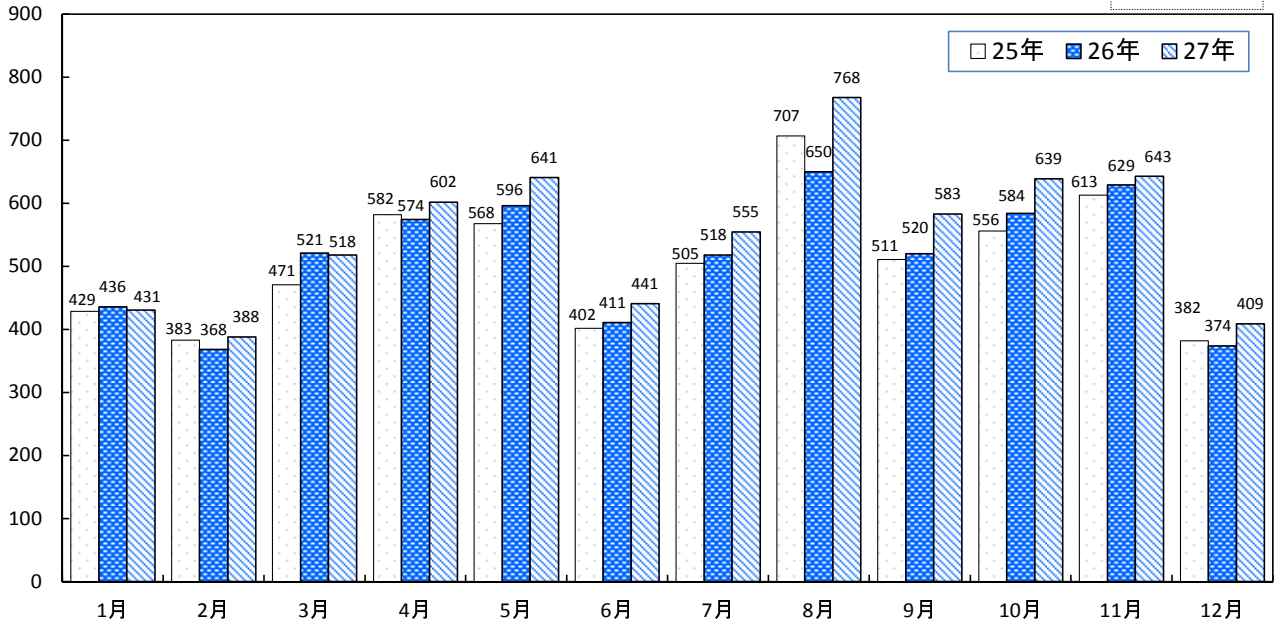
(7) 月別・季節別観光客の状況

① 月別総観光客数の状況

月別に見ると、最も観光客が多かったのは、8月の768万人、次いで11月の643万人、5月の641万人、10月の639万人となっている。

図16 月別総観光客数の状況

単位：万人

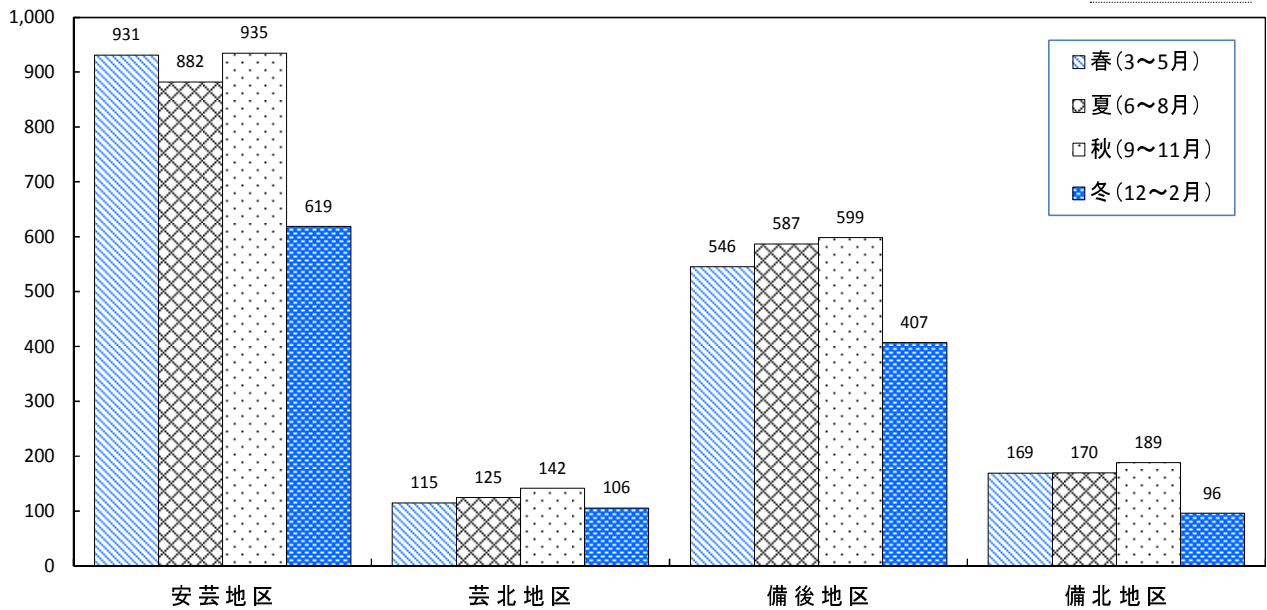


② 地区別・季節別総観光客数の状況

季節別に見ると、いずれの地区においても、秋に観光客が最も多くなっている。

図17 地区別・季節別総観光客数

単位：万人



2 外国人観光客の状況

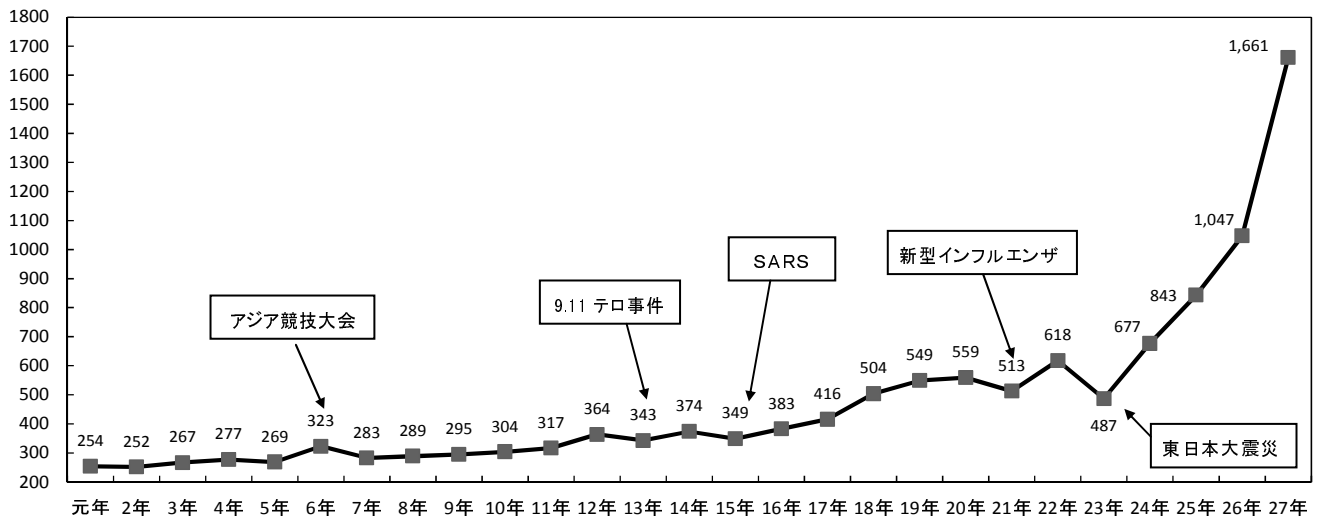
単位：千人，%

区分	平成27年	平成26年	対前年増減	対前年増減率
外国人観光客数	1,661	1,047	614	58.7

平成27年に本県を訪れた外国人観光客は、1,661千人となっており、前年と比べて614千人（58.7%）増加し、4年連続して過去最高を更新した。

図18 外国人観光客数の推移

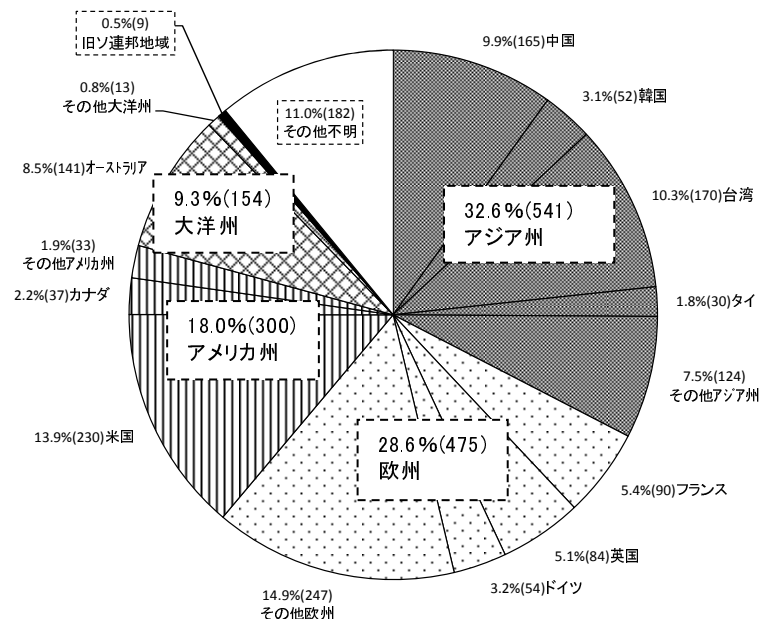
単位：千人



次に、地域別に外国人観光客の割合を見ると、アジアからの観光客が全体の32.6%を占めて最も高く、次いで欧州が28.6%、アメリカ州が18.0%となっている。

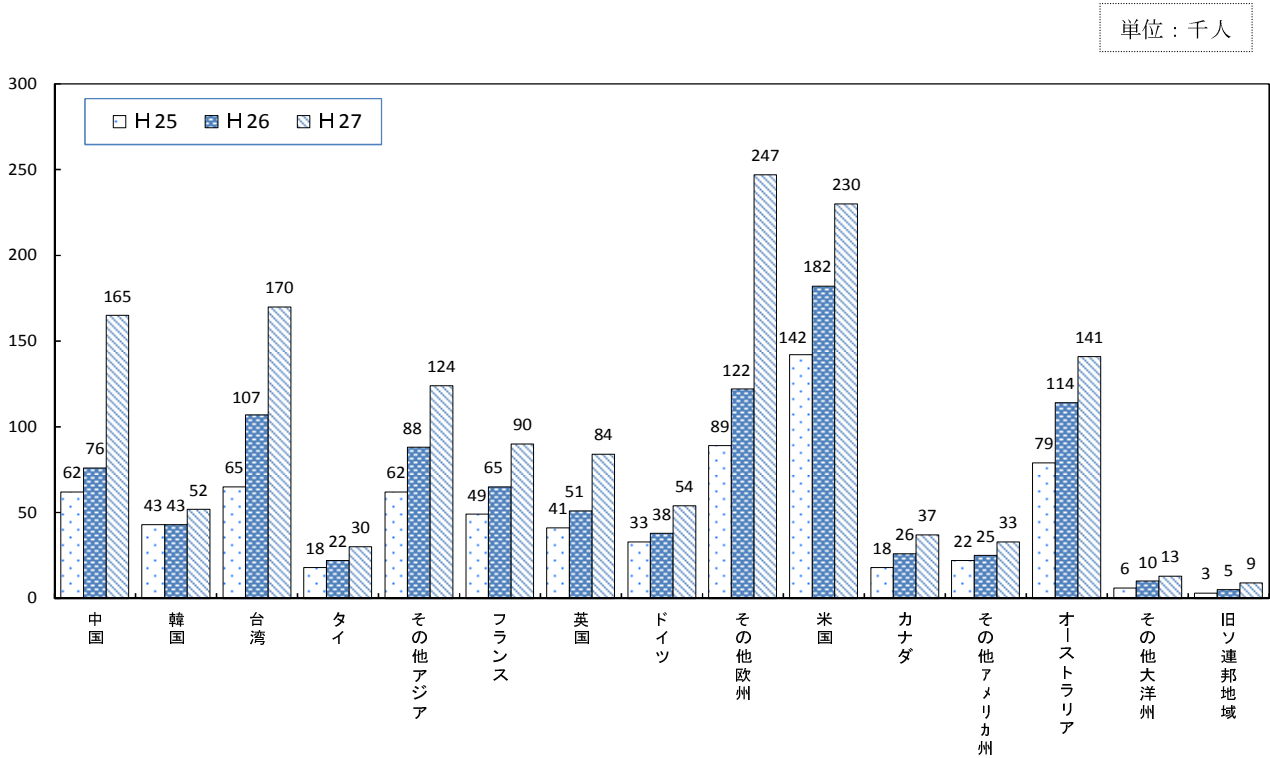
図19 国籍・地域別外国人観光客の割合

単位：千人



国籍別では、米国が第1位（230千人）、第2位が台湾（170千人）、第3位が中国（165千人）の順となっている。

図20 主な国籍・地域別外国人観光客の推移



国籍別外国人観光客数の順位（上位10位）

単位：千人，%

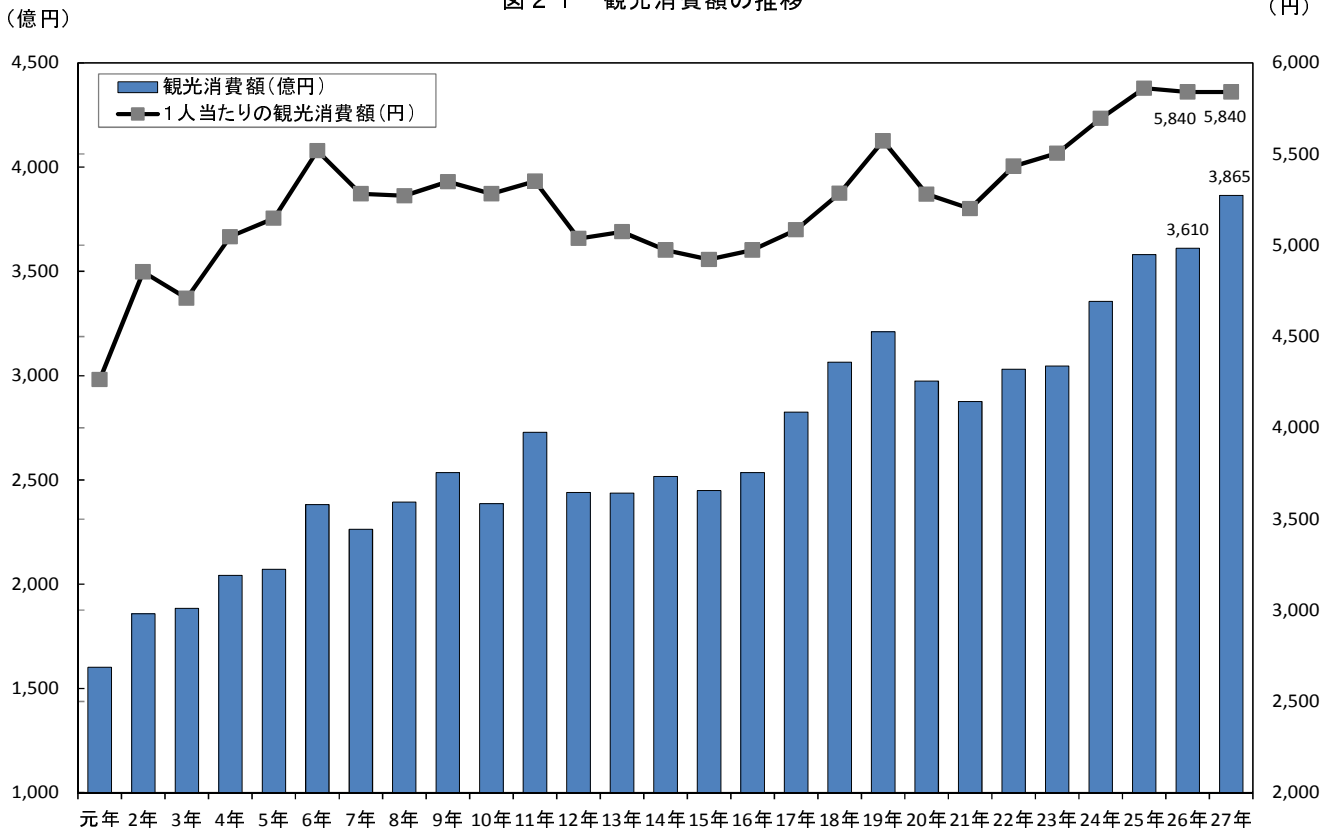
順位	国籍名	平成27年	平成26年	対前年増減	対前年増減率	前年順位
1位	米国	230	182	48	26.1	1位
2位	台湾	170	107	63	58.7	3位
3位	中国	165	76	89	118.2	4位
4位	オーストラリア	141	114	27	23.5	2位
5位	フランス	90	65	25	39.3	5位
6位	英国	84	51	33	64.9	6位
7位	ドイツ	54	38	16	43.2	8位
8位	韓国	52	43	9	21.0	7位
9位	カナダ	37	26	11	43.2	9位
10位	タイ	30	22	8	34.5	10位

(2) 観光消費額の状況

平成27年に、観光客が本県において交通費、宿泊料、みやげ品代、飲食代、入場料などに消費した観光消費額の総額は3,865億円で、前年に比べて255億円（7.1%）の増加となり、過去最高値となった。

また、観光消費額の総額を総観光客数で除した1人当たりの観光消費額^(注)は、5,840円で、前年と同値となった。

図2-1 観光消費額の推移



	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
観光消費額(億円)	1,602	1,858	1,884	2,043	2,071	2,382	2,263	2,394	2,536	2,387	2,728	2,440	2,437	2,517	2,449	2,536	2,825	3,065	3,210	2,974	2,876	3,030	3,045	3,356	3,580	3,610	3,865
1人当たりの観光消費額(円)	4,263	4,854	4,710	5,047	5,147	5,518	5,282	5,271	5,346	5,282	5,351	5,037	5,074	4,974	4,922	4,974	5,085	5,285	5,572	5,280	5,201	5,433	5,504	5,695	5,860	5,840	5,840

(注) 1人当たり観光消費額＝総観光消費額／総観光客数

なお、観光消費額については、各市町が推計したものの集計